

【主体的な学び・協働的な学びのために～複式指導実践講座 NO, 5～】

前回「複式指導実践講座 NO, 4」では、学習リーダーの活用について説明しました。

今回は、その学習リーダーを効果的に活用し、学びの成果をあげている域内の実践についてご紹介します。

主体的な学びのためには、児童生徒が自分たちで課題を解決するという意欲を高めることが重要です。教師が直接指導できない場面で、主体的な学びを進めていく一つの方法が「学習リーダー」の活用です。

南会津町立松沢小学校は、県教育センターの指導主事を招聘するなどし、早くから複式指導の充実にに向けた研修等を進めてきました。10月15日の授業研究から参考になる取組を紹介します。

※ 複式指導実践講座 NO, 4 より

- ア 学習の流れに従って、進行する。
- イ 簡単な事項について、指名したり、指示したりする。
- ウ 一人学習やグループ学習などの時間設定をする。
- エ グループ学習などで、意見や考えを整理する。

今日の「学習リーダー」はぼくです。
一人調べの時間は、〇〇分でいいですか？
では、始めてください。

〇〇さん、発表してください。同じ考えの人は……。



<友達の考えを集約や補足するリーダー>



<学習課題を説明するリーダー>



<タイマーで時間を設定するリーダー>



<リーダーを中心に教え合う>



<5・6年一緒にの導入場面>

松沢小では、オープンスペースを有効活用し、複式の授業に取り組んでいます。左の写真は、授業の導入場面です。両学年の導入を一緒に行い、共に本時の学習の見通しを持たせるなど、授業の中に様々な工夫がなされています。このように、学習リーダーの活用だけでなく、指導すべき内容は指導するメリハリのある授業展開となっています。この実践の成果は、学習状況調査にも現れています。取組内容や成果の詳細については、直接お問い合わせください。

【GIGA スクールとの関係で～教育の DX (デジタル・トランスフォーメーション)～】

授業を参観して、子供たちは主体的に学び、少人数でしたが協働での学びに取り組んでいました。今後、今回の授業を土台として、タブレットを活用した授業について検討していただければ、ICT 機器を活用した新たな授業デザインにつながると考えます。

